

雑木林を「里山」に
児童ら草刈りに汗

天白の農業センター

天白区天白町の市農業
センター南側の雑木林
で、地元の小生たちが
草刈りに汗を流し、憩い
の場になるようにとベン
チを設置した。

市と市民が協働で進め
る「荒池なごやかファー
ム構想」の一環で、この

雑木林を市民が親しめる
里山にするのが目的。市

の呼び掛けに応
じた児童十四人
と母親ら七人に
加え、構想に賛
同して設立した
市民グループ
「荒池ふるさと
クラブ」のメン
バー約三十人も
参加した。
子どもたちは



かまで草を刈る小学生
たち＝天白区天白町で

腰をかかめ、汗を流した
らせながら一時間半ほ
ど、かまで雑草を刈った
り、間伐したりした。そ
の後、木材にかすがいを
打ち込んで組み合わせ、
ベンチを二基設けた。

平針小六年の山田一稀

君は「雑草がとても多
いし、暑くて大変だっ
た」と汗をぬぐって
いた。